

福 議 委 号
令和 8 年 5 月 1 1 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

総務教育常任委員会
委員長 藤山 大

所管事務調査報告書の提出について

令和 8 年 3 月 1 0 日福島町議会定例会 3 月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第 1 4 8 条の規定により、下記のとおり報告する。

記

| | |
|---------|---|
| 調査事件 | 1 義務教育学校の設置に向けた取り組みについて |
| 調査期間 | 令和 8 年 4 月 2 7 日 |
| 出席委員 | 委員長 藤山 大 委員 杉村 志朗 委員 平野 隆雄 副委員長 熊野 茂夫 委員 木村 隆 委員 溝部 幸基 |
| 委員外議員 | 議員 佐藤 孝男 議員 平沼 昌平 議員 小鹿 昭義 |
| 欠席委員 | |
| 出席説明員 | 教育長 小野寺則之 教育委員会事務局長 西田 真弓 教育委員会事務局長 古一 直喜 学校教育係長 太田 祥子 |
| 議会事務局職員 | 事務局長 鍋谷 浩行 主任 角谷 里紗 係長 山下 貴義 |

[委員会意見]

調査事件 1 義務教育学校の設置に向けた取り組みについて (令和8年4月27日調査)

義務教育学校の設置に向けた取り組みについては、「町立学校の今後の在り方」に関する所管事務調査(令和8年1月27日)において教育委員会からその方向性について示され、本委員会からは「町民への丁寧な周知・説明が必要であり、特に吉岡地区の住民に対し説明会等を開催すべき」との意見を付して報告しており、この度、「義務教育学校の設置に向けた取り組みの状況」について、資料が示されたことから、その内容を調査したので、調査結果を報告する。

【論点とした調査項目・意見】

教育委員会から示された、義務教育学校の設置に向けた取り組みについては、一定の理解をしたが、次の事項について検討されたい。

1 義務教育学校設置に向けた取り組みについて

義務教育学校の設置に向けた取り組みとしては、これまで吉岡小学校生徒の保護者、吉岡地域住民への説明が行われているが、義務教育学校の設置は福島小学校・福島中学校の在り方(校名、校歌、校章、閉校行事等)についても大きく関わる問題であり、地元の学校を大切に思う気持ちは福島地区の住民も同様と思慮されることから、取り組みを円滑に進めるためにも、福島地区でも説明会を行い周知・理解されることが肝要と思慮するので検討されたい。

2 学校施設の整備方針について

義務教育学校の設置に当たっては、学校施設の整備方針として現在の学校施設を最大限活用した提案型プロポーザルにより進めるとのことだが、施設整備の現況は、全国的に資材価格や人件費の高騰、資材確保困難等で厳しく予測困難であり、想定した事業費やスケジュール通り進めることは難しいと懸念されることから、整備方針の検討にあたっては財源の確保も含め内容を十分精査しながら進めるよう検討されたい。

設備の老朽化が進んでいる学校給食センターについては、今後の維持管理を考慮すると学校施設と一体的に整備するか、給食センターを廃止し民間委託対応とするか等について検討する必要があると思慮する。

3 総括意見

義務教育学校の設置は、町の教育環境を大きく変える事になると考えるので、議会としても義務教育学校の在り方について理解を深め議論して行く必

要があると認識している。

今後設立する準備委員会においては、先進地視察・関連情報収集を積極的に行い、熟議を尽くし、想定される義務教育学校のメリットを最大限実現し、デメリットを最小限に留める方策を充分検討するよう望む。

第6次総合計画については、学校施設の整備が当初予定していた事業内容と大きく異なることや、それ以外の事業計画についても、懸念される物価高騰等様々な要因から、総合計画全体の見直しを改めて行う必要があると思慮するので検討されたい。